



TITLE:

謝辞

AUTHOR(S):

田中, 博明

CITATION:

田中, 博明. 謝辞. 西洋古典論集 2001, 別冊: 69-70

ISSUE DATE:

2001-01-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/68723>

RIGHT:

謝 辞

田 中 博 明

岡先生、

『ギリシア悲劇全集』では、いろいろお世話になりました。ほんとうにありがとうございました。

『キケロー選集』では、編者としてはもとより、率先垂範、第一回配本を御担当くださりまして、ほんとうにありがとうございました。

いろいろお世話になりました。私ごとき者によくしていただき、まことにありがとうございました。うれしいことでした。

追悼の文集を出すので、それに稿を寄せるようにとのことですが、恥かしいことに何を書くこともできません。ただただかなしいばかりでございます。

ひとりの人間の死が、かくも身にこたえるものであるとは、まったく予想をこえるものでありました。それは誰の死にさいしてもこれまで引き起こされたことのない特別の感慨、深い喪失感でありました。かなしいばかりであります。

強いて書けといわれれば、「命^{めい}なるかな。斯の人にして斯の疾有るは。命なるかな」との司馬遷のことばであります。これだけがいまの私の感情であります。

岡先生、

先生は私にとりまして、かけがえのない、貴くなつかしい、大切なかたでございました。同時代に生きていることが誇りであり、仕事を介してのささやかなかわりにすぎぬにせよ、その存在が慰めであり救いであり、生きる上での励ましであるようなかたでありました。身分や地位にかかわらず、夢を共有する者には率直に心を開いて、ひとりの人間として、信頼といたわりをお寄せくださる志操をお持ちのかたでございました。『ギリシア悲劇全集』『キケロー選集』がそれを示しております。

いろいろお世話になりました。ほんとうにありがとうございました。

『プラトン全集』とともに、『ギリシア悲劇全集』『キケロー選集』も後世のひとびとへの遺産となることと信じます。

おなくなりになりましたのち、三度、『ホメロスにおける伝統の継承と創

造』を拝読いたしました。しのぶですがとしてはそれしか私にはありません。

「ホメロスの真に偉大な創造は、冷厳な運命の支配する世界のなかに自らの生を生きる人間像にこそ求められるであろう」との終末は読むたびに感動にさそわれます。ここにはいわゆる閃 鑠^{せんしゃく}たる光景があるように私には思われます。

今ひとつ。チュービンゲンからお送りいただいたカール・ラインハルトのVermächtnis der Antikeをめくっております。これもしのぶですがとなっております。何でわざわざお送り下さったのか、とうとう理由もうかがえなくなってしまうしました。名前と「進呈」という文字だけがなつかしい筆跡とともにあります。かなしいばかりでございます。

岡先生、

先生は私にとりまして、いわば心の停車場でございました。いろいろご心配かけました。いろいろお世話になりました。ほんとうにありがとうございました。

無念のご逝去に憤りあるばかりです。せめては中村善也先生とご清談ありますように。